

済生会山口総合病院 外来医師担当表

平成28年1月1日現在

●各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時
 診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり)
 急患の場合はこの限りではありません。
 ●都合により代診・休診とさせていただきます場合があります
 のでご了承ください。

診療科名		月	火	水	木	金	
内科 083-901-6102 ※呼吸器内科、 神経内科、 完全紹介予約制	循環器		小野史朗 (循環器内科)		小野史朗 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)	
			塩見浩太郎 (循環器内科)	國近英樹 (循環器内科)		塩見浩太郎 (循環器内科)	
			加藤孝佳 (循環器内科)	赤川英三 (循環器内科)		赤川英三 (循環器内科)	加藤孝佳 (循環器内科)
	腎臓		今井剛 (腎臓内科)	渋谷正樹 (循環器・腎臓内科)	今井剛 (腎臓内科)	渋谷正樹 (循環器・腎臓内科)	
	糖尿病・ 血液	藤田直紀 (糖尿病・血液内科)	村木和彦 (糖尿病・血液内科)		村木和彦 (糖尿病・血液内科)	藤田直紀 (糖尿病・血液内科)	
	消化器	原田稔也 (消化器内科)	佐々木敏行 (消化器内科・胆臓)	花田浩 (肝臓内科)	佐々木敏行 (消化器内科・胆臓)	白石龍 (消化器内科)	
呼吸器		*非常勤医師 (午前9時30分～)	*非常勤医師 (午後2時～)	*非常勤医師 (午前9時～午後0時)	*非常勤医師 (午後2時～)		
【専門外来】○神経内科 毎週水曜日 *古賀 道明医師の診察となります。							
外科 083-901-6107	1診	小林俊郎 (心臓血管外科)	高橋剛 (消化器・乳腺外科)	郷良秀典 (心臓血管・呼吸器外科)	神保充孝 (呼吸器外科)	高橋剛 (消化器・乳腺外科)	
	2診	斎藤聰 (血管外科)		藏澄宏之 (心臓血管・呼吸器外科)			
	【専門外来】○乳腺外来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤聰 医師の診察となります。						
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲啓治	大場一生	城甲啓治	大場一生	伊藤英昭	
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	竹野研二	*非常勤医師	竹野研二	竹野研二	竹野研二	
○竹野医師 午前9時～診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始 非常勤医師による診察となります。							
脳神経外科 083-901-6109	1診	湧田幸雄	北原哲博	※完全予約制 湧田幸雄	宮岡亮	北原哲博	
○北原医師・宮岡医師 【受付時間】午前8時30分～10時							
整形外科 083-901-6108 ※初診は完全紹介制	初診	大中博司 (脊椎・外傷)	三原修三 (肩関節・外傷)	井上裕文 (脊椎・外傷)	※完全紹介予約制 岸本哲朗 (脊椎・人工関節)	大野晃靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)	
	再診	岸本哲朗	大野晃靖	大中博司 (脊椎・外傷)	井上裕文	三原修三	
○大中医師 水曜日は午前のみ							
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷信三	*非常勤医師	古谷信三	古谷信三	古谷信三	
○木曜日は手術日のため午前みの診察となります。							
眼科 083-901-6123 ※初診は完全紹介制	1診	休診	*非常勤医師	休診	*非常勤医師	休診	
皮膚科 083-901-6110 ※初診は完全紹介予約制	1診	休診	休診	*非常勤医師	休診	休診	
○毎週水曜日 午前9時～午前11時 非常勤医師の診察となります。							
小児科 083-901-6106	1診	*非常勤医師	休診	休診	休診	*非常勤医師	
【乳児検診・予防接種】月曜日・金曜日 午前10時～午前11時							

医療機関の先生方へ

放射線科	放射線科の診療は完全予約制となっております。CT・MR・RIIは直接ご予約できます。CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時 RI予約 083-901-6154 午前8時30分～午後6時 (※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。)
栄養科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177

患者さんご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか、病院ホームページをご覧ください。
 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時)
 TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357
 E-mail: renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp
 担当 河嶋 裕子

【用語の解説】
 ☆完全予約制…事前に予約をお取り頂くことが必要な外来
 ☆完全紹介制…医療機関からの紹介(紹介状の持参)が必要な外来
 ☆完全紹介予約制…医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

Life No.88

済生会山口総合病院広報誌 平成28年1月10日発行

済生会山口総合病院 〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表) FAX 083-921-0714

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Life

ライフ

NO.88

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会 広報チーム

発行責任者：院長 城甲啓治

〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2016年1月号

年頭のご挨拶

済生会山口総合病院

院長 城甲啓治

明けましておめでとうございます。
 皆様には清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

早いもので、院長拝命より1年半が過ぎました。先ず、方針として掲げたのは「心・技・体」の「体」の強化でした。心・技においてはトップレベルにあると自負しておりますが、決して体力に余裕があるとはいえません。その体力のひとつはマンパワーです。慢性的医師不足の中、医師確保の取り組みも少しずつではありますが、成果が出てきております。また、医師教育を大学に頼るだけでなく、自分たちも育てていこう、と参加した研修医教育も順調で、研修先として選んでもらえる病院になってきたと思います。

体力が必要な最大の理由は、体力がないと『救急』が弱くなることです。「断らない救急」が理想ですが、これがもっとも大変なことであり、体力に余裕がなければ出来ないことなのです。しかし、やはり『救急』は医療の原点であり、住民およびかかりつけ医の先生方の期待が大きいことは十分に認識しています。それゆえ、引き続き今年の目標に掲げたいと思っています。ただ、地域の皆さんにもひとつの願いがあります。それは、お近くにかかりつけ医を持っていただきたいのです。なぜなら、患者さんの状態によって様々な医療施設が役割を分担することで、当院の大き

な役割のひとつである『救急』にもう少し力を注ぐことができるのではないかと、ひいてはかかりつけ医の先生方からの紹介が救急受診の道筋を創っていくのではないかと考えるからです。

もう一つの体力は、病院の建て替えです。病院の建物は単なる「箱物」でも「看板」でもありません。めざましく進化する医療機器と同等のものです。救急のためにも、災害時の医療のためにも、来る超高齢社会の医療のためにも、時代に見合った建物が必要なのです。現在、計画は一歩づつですが着実に進行しています。

医療はサービス業とも言われますが、商いの三方よし「売り手よし、買い手よし、世間よし」を、「医療よし、患者よし、世間よし」と言い換えれば、あながち間違いではないのかと思います。済生会山口総合病院は、「世間よし」となる医療を提供できるよう邁進して参ります。今後とも、皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

- 基本方針
- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
 - 一、良質の医療サービスを提供します。
 - 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

- 患者さんの権利
1. 平等で適切な医療を受けること
 2. 尊厳が守られること
 3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
 4. プライバシーが守られること
 5. 自らの意思で医療を選択すること

不整脈と心不全

循環器内科副部長
加藤孝佳



心臓は血液を送り出す臓器で、このサイクルに乱れがあるものが不整脈です。

心臓は心筋細胞の集合体です。細胞個々が別々に動いてしまえば心臓のポンプ機能は正常に機能しません。心筋細胞の収縮のタイミングを正しくコントロールすることが不整脈の狭義の治療となります。

心臓の収縮のタイミングがずれる理由についてはいくつかの要因がありますが、単純化すると「心臓へのダメージ」「心臓の状態が不安定」ということになります。不整脈はこのダメージや不安定性に忍び込みやすいからです。

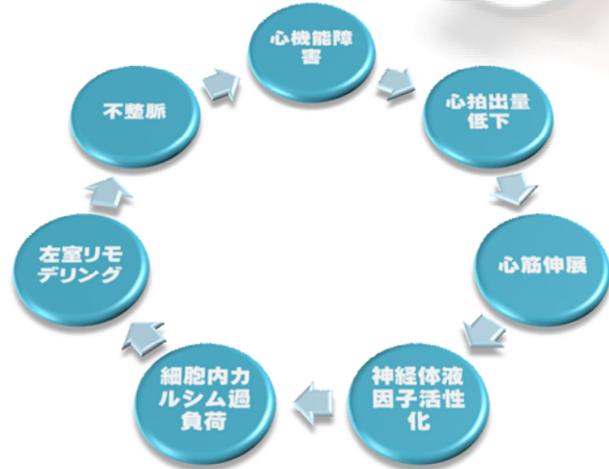
心臓の筋肉の細胞では、さまざまな構造体が安定化のために関連しあっています。構造体のうち一つが異常をきたしても、安定化のための機序が働いていますが、構造体のいくつかが異常をきたしてしまうと不安定になります。その結果、心筋が異常な行動をしてしまい、これが第一のステッ

プとなります。これが隣の心筋にまで影響を与えてしまう場合があります。となりの細胞に影響を与えるほど異常をきたすことが心臓全体に影響する2番目のステップとなってしまいます。心臓全体に影響する1発の脈の乱れは一つの治療ターゲットとして知られています。

心臓にダメージがある方ではこの伝導が遅くなることが知られています。これは電気の流れ方にダメージがあると考えられます。つまり、心臓の一部の筋肉にダメージがあると不整脈の「基質」となります。この原因としては、心筋症や心筋梗塞など、心臓の筋肉にダメージを負う状態が知られています。不整脈が問題となるのは多くの場合「心臓にダメージがある心不全の患者さん」となります。脈が整っているときには流れ方の遅れが問題とならなかったものが、1発の脈の乱れにより顕在化してしまう場合があります。乱れていなくても脈が通りにくくなり脈拍が少なくなる場合にも治療が必要です。

不整脈の治療には、心臓の筋肉を安定化させる薬物治療、不安定な不整脈基質となった部位を焼灼するアブレーション治療、電気の流れ方を取り戻すペースメーカーなどのデバイス治療があります。

不整脈の治療に有効なものは、不整脈のもととなる状態にさせない、つまりダメージを負わないこと、ともいえます。また積極的に心不全予防をしていくことも有効です。もし心臓にダメージを負ってしまった場合には、主治医の先生とお話ししていただき、主体的に適切な治療法を選んで治療に積極的に取り組むことが肝要です。



2016年 年間行事予定

※ 各月の健康講座の内容、および2月以降の地域連携セミナーは未定です。
なお、地域連携セミナー及び脳卒中ネットワークは医療従事者対象です。

2月	・健康講座 ・脳卒中ネットワーク ・地域連携セミナー	7月	・健康講座 ・ふれあい看護体験（高校生）
3月	・健康講座	8月	・健康講座 ・職場体験（小・中学生）
4月	・健康講座 ・病院就職説明会 （4月または5月に開催予定）	9月	・健康講座
5月	・看護の日 イベント行事	10月	・糖尿病週間行事 ・看護師再就職支援セミナー
6月	・健康講座	11月	・健康講座

11月(金)
20日

今年もたくさんのご参加ありがとうございました。 糖尿病週間行事について

今年の糖尿病週間行事はいかがでしたでしょうか？
おかげさまで、各コーナーとも盛況裡に終わることが出来ました。来年も更にご満足頂けるよう、充実した内容にしていきたいと考えております。



職場紹介コーナー 臨床検査部

臨床検査部は、検査部長（糖尿病・血液内科部長）、検体検査管理部長、臨床検査技師、事務員の27名で構成しています。

患者さんや他部門からの信頼を高めるため、病院の理念『私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します』に基づ

き、常に患者さんの立場を考え「迅速かつ正確なデータの提供」及び「安定した質の高い臨床支援の提供」ができるよう取り組んでいます。

また、NST（栄養サポートチーム）・ICT（感染対策チーム）・医療安全対策委員会など、他部門との連携を図りチーム医療にも貢献できるように、日々努力しています。



1階 心電図室



5階 中央検査室

敷地内全面禁煙のお知らせ

平成27年8月1日より、喫煙・受動喫煙による健康被害を防ぐために病院敷地内全面禁煙（建物内・駐車場及び車内を含む）を実施しております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。